

マスター・コース

新講座「すみだプロジェクト」で錦糸小学校に出張授業

全日制マスター・コースでは、新講座「すみだプロジェクト」の一環として、1月30日に墨田区立錦糸小学校への出張授業を行いました。

当スクールと小学校とのコラボレーション授業は2011年にスタートし、今回で3回目。マスター・コースの学生が講師となり、商品をどう売って利益を生み出すかという商売の仕組みを錦糸小学校の6年生に授業しました。教科書では扱わないテーマであり、現役のビジネスマンでもあるマスター・コースの生徒が授業を行うため、関心も年々高まり、今回は保護者参観日に開催されました。

授業のテーマは「社長になって、帽子屋さんを経営しよう！」で、授業の冒頭では、帽子屋さんを経営するために必要なものは何か、商品を売るにはどう宣伝したらよいか、そして売上げ、利益とは何か？といった小学生には少し難しい解説を、寸劇によって楽しく説明しました。その後、5グループに分かれ、各グループを会社と想定し、小学生用に開発された意思決定力を育成するシミュレーションプログラムを使用し、利益をいかに上げるかを競いました。

市場や他社の動向を分析しながら、利益を出すために仕入数や販売価格、広告費などを電卓片手に小学生が自分達で決定し、順位が発表される度に歓声があがりました。今回は保護者にもグループを組んでいただき、小学生と一緒に体験してもらうことで授業は大いに盛り上がりました。

この授業の目的は、経営体験を通じ、みんなで協力し意見をだし、まとめていくことの大切さを体験してもらうことですが、小学校ではキャリア教育、金融教育といった点でも役立つと評価をいただいております。

